

平成 21 年 10 月 9 日
ソニー生命保険株式会社

「スペシャルオリンピックス日本」へ賛助金贈呈 ～大会ごとに広がる支援の輪～

ソニー生命保険株式会社（社長 於久田 太郎）は、ひとりでも多くの知的発達障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していきたいという思いのもと、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しています。このたび、平成 21 年 10 月 6 日に「スペシャルオリンピックス日本」の有森裕子理事長を本社へ招いて賛助金の贈呈式を行いました。

活動の趣旨

当社では、多くの社員がボランティア活動の価値を見出して社会貢献活動を行っております。そのひとつとして、ひとりでも多くの知的発達障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していきたいという思いのもと、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しております。

平成 21 年度は、500 万円の賛助金を贈呈しました。また、平成 20 年 3 月に開催された「2008 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・山形」では、延べ約 700 名の社員がボランティアスタッフとして大会を支援しました。平成 22 年 11 月に開催される「2010 年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」へのボランティアとしての参加も計画しております。

こうした大会への参加以外にも、各地区組織の設立支援、日常のスポーツトレーニングでのコーチやボランティアとしての活動、映画上映会やチャリティーイベント開催時の支援など、社員が自分の得意な分野やかかわることのできる時間・場所を見つけ、積極的に活動を支援しています。



（左）スペシャルオリンピックス日本 有森理事長 （右）当社代表取締役社長 於久田

～ 認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本 (<http://www.son.or.jp/>) ～

知的発達障がいのある方々に日常的なスポーツトレーニングの機会を年間を通じて提供するとともに、その成果の発表の場である競技会の開催を通じて社会参加を応援する認定 NPO 法人です。



「スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・山形」
に参加した社員ボランティア



蔵王ゲレンデにて会場設営をする社員ボランティア

以 上